



平成23年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年3月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社伊藤園

コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 本庄 大介

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 佐藤 郁尚

TEL 03-5371-7197

四半期報告書提出予定日 平成23年3月17日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年4月期第3四半期の連結業績(平成22年5月1日～平成23年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第3四半期	272,206	7.5	13,897	37.6	12,896	36.5	7,123	43.8
22年4月期第3四半期	253,261	△0.8	10,103	21.6	9,445	18.5	4,952	35.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第3四半期	56.20	56.03
22年4月期第3四半期	38.40	38.29

(注)上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については以下(参考)をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第3四半期	176,388	101,147	57.3	817.75
22年4月期	179,846	100,455	55.8	808.37

(参考) 自己資本 23年4月期第3四半期 101,025百万円 22年4月期 100,316百万円

(注)上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については以下(参考)をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	—	19.00	—	19.00	38.00
23年4月期	—	19.00	—		
23年4月期(予想)				19.00	38.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

(注)上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については以下(参考)をご覧ください。

3. 平成23年4月期の連結業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	352,300	5.8	15,000	20.5	13,700	17.3	7,000	16.7	53.84

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

(注)上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については以下(参考)をご覧ください。

4. その他 詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年4月期3Q 91,212,380株 22年4月期 91,212,380株

② 期末自己株式数 23年4月期3Q 1,999,920株 22年4月期 2,008,298株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年4月期3Q 89,209,567株 22年4月期3Q 89,198,334株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る発行済株式数であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については以下(参考)をご覧ください。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第3四半期	61.20	61.03
22年4月期第3四半期	43.41	43.30

	1株当たり純資産
	円 銭
23年4月期第3四半期	817.75
22年4月期	813.37

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	—	24.00	—	24.00	48.00
23年4月期	—	24.00	—		
23年4月期(予想)				24.00	48.00

(3) 連結業績予想における第1種優先株式に係る1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
通期	63.82

(4) 発行済株式数(第1種優先株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年4月期3Q	35,246,962株	22年4月期	35,246,962株
② 期末自己株式数	23年4月期3Q	917,877株	22年4月期	568,862株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年4月期3Q	34,485,237株	22年4月期3Q	35,182,609株

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善により、個人消費の持ち直しの動きはあるものの未だ弱く、雇用情勢は厳しいため、本格的な回復基調までは及ばず、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、依然として緩やかな物価下落が続いておりますが、販売数量は好調に推移しております。

このような状況のなか、当社は経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社を取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でも何を不満に思っているか」を常に考え、全社一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

売上に関しましては、日本茶飲料において「お〜いお茶 緑茶」が堅調に推移していることに加えて、紅茶飲料において「TEAS' TEA NEWYORK」、コーヒー飲料において「TULLY'S COFFEE BARISTA'S CHOICE」、野菜飲料が好調に販売を伸ばしました。

その結果、売上高の総額は2,722億6百万円（前年同期比7.5%増）と増加し、利益面におきましては、各種経費の見直しを行うとともに効率的な経営を行い、営業利益138億97百万円（前年同期比37.6%増）、経常利益128億96百万円（前年同期比36.5%増）、四半期純利益71億23百万円（前年同期比43.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,763億88百万円となり、前連結会計年度末と比較して34億58百万円減少いたしました。総資産の主な変動要因は、有形固定資産の「リース資産」が39億87百万円増加し、「受取手形及び売掛金」が39億24百万円、流動資産の「その他」が19億21百万円、「のれん」が8億87百万円、無形固定資産の「その他」が8億79百万円それぞれ減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は752億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して41億50百万円減少いたしました。負債の主な変動要因は、「リース債務」が40億20百万円増加し、「買掛金」が67億5百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,011億47百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億92百万円増加いたしました。純資産の主な変動要因は、四半期純利益により71億23百万円増加し、剰余金の配当により50億49百万円、自己株式の取得等により3億26百万円、為替換算調整勘定が6億80百万円それぞれ減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.8%から57.3%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、121億95百万円の収入となりました。主な要因といたしましては、増加要因として税金等調整前四半期純利益126億63百万円、減価償却費65億69百万円、売上債権の減少37億94百万円であるのに対し、減少要因として仕入債務の減少66億5百万円、法人税等の支払額62億30百万円であったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、17億5百万円の支出となりました。これは主に設備投資による支出17億6百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、98億36百万円の支出となりました。これは主にファイナンス・リース債務の返済による支出44億47百万円、配当金の支払47億68百万円があったことによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して3億58百万円増加し、191億53百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当面は景気回復の弱めの動きが見込まれるものの、海外経済の改善や各種の政策効果を背景に、景気が緩やかに持ち直していく動きがでてくるものと思われま

す。また、飲料業界におきましては、一層の競争激化が予想されます。

当社グループといたしましては、「自然・健康・安全・良いデザイン・おいしい」の製品開発コンセプトを基本に、厳格な品質管理のもと、積極的に新製品の開発を行うとともに、費用対効果を検証しつつ効果的にマーケティング費用を投下し、飲料市場におけるシェア向上を図ってまいります。

なお、通期の連結業績に関しましては、第3四半期連結累計期間までの進捗状況を鑑み、見直しをせず据え置いております。

また、当社は、平成22年12月27日開催の取締役会において決議いたしました会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得につき、平成23年2月22日をもってこれを完了いたしました。

あわせて、平成22年12月27日および平成23年2月24日開催の取締役会において決議いたしました会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を平成23年3月31日に行う予定です。

通期の連結業績予想における普通株式および第1種優先株式に係る「1株当たり当期純利益」に、当該事項の影響を織り込んでおります。

自己株式の取得および消却に関する内容

1. 取得の内容

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| (1) 取得した株式の種類 | 当社第1種優先株式 |
| (2) 取得期間 | 平成22年12月28日から平成23年2月22日まで
(約定日ベース) |
| (3) 取得した株式の総数 | 300,000株 |
| (4) 株式の取得価額の総額 | 307,901,200円 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における信託方式による市場買付 |

2. 消却の内容

- | | |
|-----------------|-------------|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社第1種優先株式 |
| (2) 消却する株式の総数 | 1,000,000株 |
| (3) 消却後の発行済株式総数 | 34,246,962株 |

平成23年2月24日開催の取締役会における決議内容に基づき消却する予定の100,000株と、平成22年12月27日開催の取締役会における決議内容に基づき消却する予定の900,000株とあわせて合計1,000,000株を消却した後の当社第1種優先株式の発行済株式総数であります。

- | | |
|-----------|------------|
| (4) 消却予定日 | 平成23年3月31日 |
|-----------|------------|

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は32百万円、税金等調整前四半期純利益は2億64百万円減少しております。

②「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,153	18,795
受取手形及び売掛金	30,541	34,466
商品及び製品	16,431	16,072
原材料及び貯蔵品	6,868	7,127
その他	10,144	12,066
貸倒引当金	△104	△125
流動資産合計	83,034	88,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,756	14,720
土地	13,967	13,941
リース資産(純額)	23,689	19,702
その他(純額)	4,419	4,445
有形固定資産合計	56,832	52,810
無形固定資産		
のれん	13,056	13,944
リース資産	111	144
その他	8,991	9,870
無形固定資産合計	22,159	23,959
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	14,362	14,674
固定資産合計	93,353	91,444
資産合計	176,388	179,846
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,378	25,083
短期借入金	310	310
リース債務	6,870	5,116
未払費用	13,862	14,243
未払法人税等	2,591	3,532
賞与引当金	1,454	2,573
その他	1,881	1,681
流動負債合計	45,349	52,541
固定負債		
長期借入金	3,225	3,457
リース債務	18,821	16,554
退職給付引当金	4,766	4,268
その他	3,077	2,569
固定負債合計	29,891	26,849
負債合計	75,240	79,390

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	20,259	20,259
利益剰余金	75,153	73,095
自己株式	△5,675	△5,348
株主資本合計	109,648	107,917
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37	329
繰延ヘッジ損益	△6	41
土地再評価差額金	△6,260	△6,260
為替換算調整勘定	△2,393	△1,712
評価・換算差額等合計	△8,622	△7,601
新株予約権	7	11
少数株主持分	114	128
純資産合計	101,147	100,455
負債純資産合計	176,388	179,846

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)
売上高	253,261	272,206
売上原価	128,762	138,538
売上総利益	124,498	133,667
販売費及び一般管理費	114,395	119,770
営業利益	10,103	13,897
営業外収益		
受取利息	18	10
受取配当金	39	39
持分法による投資利益	38	42
その他	221	261
営業外収益合計	318	352
営業外費用		
支払利息	569	718
為替差損	271	544
その他	136	90
営業外費用合計	976	1,353
経常利益	9,445	12,896
特別利益		
固定資産売却益	2	—
固定資産受贈益	2	53
ゴルフ会員権退会益	—	40
その他	—	0
特別利益合計	4	94
特別損失		
固定資産廃棄損	52	31
減損損失	29	48
投資有価証券評価損	232	11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	231
その他	35	4
特別損失合計	351	327
税金等調整前四半期純利益	9,098	12,663
法人税等	4,105	5,525
少数株主損益調整前四半期純利益	—	7,138
少数株主利益	40	14
四半期純利益	4,952	7,123

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,098	12,663
減価償却費	5,007	6,569
減損損失	29	48
のれん償却額	705	699
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△100	△32
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,256	△1,118
退職給付引当金の増減額(△は減少)	447	498
受取利息及び受取配当金	△57	△48
支払利息	569	718
為替差損益(△は益)	104	279
持分法による投資損益(△は益)	△38	△42
固定資産受贈益	△2	△53
固定資産廃棄損	52	31
投資有価証券評価損益(△は益)	232	11
売上債権の増減額(△は増加)	4,543	3,794
たな卸資産の増減額(△は増加)	△43	△256
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	231
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,978	1,795
その他の固定資産の増減額(△は増加)	227	71
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,338	△6,605
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,184	746
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△599	△776
その他	43	△132
小計	16,789	19,093
利息及び配当金の受取額	63	52
利息の支払額	△571	△720
法人税等の支払額	△3,726	△6,230
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,553	12,195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,441	△7
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,959	△1,706
有形及び無形固定資産の売却による収入	33	2
有形固定資産の除却による支出	—	△5
長期前払費用の取得による支出	△35	△17
関係会社株式の取得による支出	△902	—
その他	256	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,049	△1,705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,155	—
長期借入れによる収入	2,800	—
長期借入金の返済による支出	△110	△232
自己株式の取得による支出	△345	△348
自己株式の処分による収入	2	1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,794	△4,447
配当金の支払額	△4,773	△4,768
少数株主への配当金の支払額	△52	△28
その他の支出	△5	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,124	△9,836
現金及び現金同等物に係る換算差額	△62	△294
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,318	358
現金及び現金同等物の期首残高	13,988	18,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,306	19,153

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)

	茶葉 (リーフ) 関連事業 (百万円)	飲料 (ドリンク) 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,157	216,046	15,057	253,261	-	253,261
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	22,157	216,046	15,057	253,261	-	253,261
営業利益	3,706	21,564	893	26,163	(16,060)	10,103

(注) 1 事業区分は製品・商品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、茶葉(リーフ)関連、飲料(ドリンク)関連、その他に区分しております。

2 各事業の主な製品及び商品

(1) 茶葉(リーフ)関連事業……………緑茶・ウーロン茶等の茶葉(リーフ)製品

(2) 飲料(ドリンク)関連事業……………日本茶・中国茶・野菜・果実・コーヒー・紅茶・機能性等の飲料(ドリンク)製品

(3) その他の事業……………上記以外の製品及び仕入商品、食材等

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に国内外でリーフ製品・ドリンク製品の製造、仕入及び販売をしており、その他に飲食事業等を展開しております。したがって、当社の報告セグメントは「リーフ・ドリンク関連事業」及び「その他」から構成されております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)

	リーフ・ドリンク 関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書計上額 (百万円)
売上高				
(1) 外部顧客に 対する売上高	258,441	13,765	-	272,206
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	170	2,049	△2,220	-
計	258,612	15,814	△2,220	272,206
セグメント利益 又は損失(△)	13,181	1,349	△633	13,897

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれんの償却額△667百万円、セグメント間取引33百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。